

チャレンジ工房News

第 35 号

平成 26 年 2 月発行

発行先 パソコン工房チャレンジ

編集責任者 曲 圭子

障害者パソコン教室を開講します・・・

今月の中旬より所員の研修時間以外に、当工房が持つパソコン機器や人材を有効的に活用し、市内の障害者で既に他の作業所等に通所しておられたり、自宅におられる方で、「パソコンの基礎を勉強してみたい」と思っている方を対象に「障害者コンピュータ教室」を開講します。

本誌第 32 号でも掲載しましたように、特に私たち障害者にとって「パソコン」という一つのツールは、日常生活や社会生活を送っていく上で必要かつ有益な道具であると思っています。

例えば、インターネットを活用することで、外出することが困難なときでも、パソコン上でショッピングを楽しんだり、ネットバンキングで銀行への振り込みなど、自宅にいたままで済ませることがかできます。

また、「パソコンスキルを磨く」ということは、現在社会の「IT 産業社会」で仕事に就くためには必要条件です。特に私たち障害者の場合、高度なパソコン技術を身に付けるほど、「仕事」に就ける可能性が増え、出来る「仕事」の幅も広がるのではと、工房での勤務を通じて感じています。

パソコン技術や知識を持つ当工房の所員・スタッフが、ピア的な視点で、パソコンの基礎から「丁寧且つ親切に」受講生一人ひとりのペースに合わせて指導致します。興味・関心がある方は当工房までお問い合わせ下さい。

2 月・3 月の日程

2/8(土)・2/9(日) 作業所等 実践販売会

あまがさきキューズモールにて
※当日は、今後の工賃仕事を見すえて試験的にポストカードや名刺の展示・予約販売を行いました。東北の障害者作業所の物品もクッキーやかりんとうなどを販売しました。

2 日間で約 2 万円の売上がありました。
ありがとうございました。

3/8(土) うず潮まつり

10:00~13:00 大庄支所

障害者パソコン教室 実施要項

- 目 的 自宅や作業所にいる若い障害者にとって、パソコンやインターネットは世界を広げるものです。既に作業所等に通所している市内の障害をもつ仲間にもパソコンを学ぶ場所を提供します。
- 開催場所 地域活動支援センター「パソコン工房チャレンジ」(大庄西町 4 丁目 9-16 啓明中学校の 2 筋北)
- 開催日時 毎月中旬より、週 1 回を 8 回 時間は午後 2 時~4 時
(具体的な日程は講師スタッフと受講生との相談の上、決定します。)
- 受講料 8 回分 4000 円 (テキスト印刷費、講師謝礼)
- 学習内容
 - ・マウス練習
 - ・入力練習
 - ・文字の書式設定 (文字サイズ・文字色・フォントを変える)
 - ・文書の作成 (案内チラシ・年賀状などのハガキ作成)
 - ・インターネット検索
 - ・メール入門
- お問い合わせ 地域活動支援センター「パソコン工房チャレンジ」
TEL・FAX : 06-4981-8120
Mail : challengeama@yahoo.co.jp



ものづくり絆(きずな)市に参加しました・・・



今月 8 日・9 日と JR 尼崎駅前のあまがさきキューズモールにて、「ものづくり絆市」がありました。

この販売会は、阪神地域の地域活動支援センターや作業所等の職員を対象に、昨年の 10 月から 5 回シリーズで行われていた各作業所のオリジナル製品などの販売のレベルアップを目指す「ものづくりデザイン講座」の一環で行われた実践型の販売会です。阪神地域各地より 20 の作業所が参加しました。

今回の販売会の目的は、「各作業所の販売力を高め、工賃アップにつなげること」です。当工房も開所して今年で 4 年目になるので、今回は東北の作業所の物品の販売だけではなく、「所員さんの趣味や日々の研修で得たパソコン技術を生かして、何か当工房のオリジナル製品を作って販売したいね」と昨年よりスタッフで話をしていました。

そこで、毎月のように本誌に旅行等の写真を投稿してくれている C さんに旅行先の風景写真や花の写真などを提供してもらい、画像ソフトやデザイン系のソフトを使ってアレンジし、オリジナルなポストカードを作って販売することを考えつきました。

当工房のオリジナルな自主製品を作製したり販売した経験は工房設立後、まだ一度もないので「売れる製品を作るためには、どんな写真を使って、どのようなデザインでアレンジをすればいいのか・・・」「果たして、売り物になる製品を作れるのか・・・」と、かなり不安や戸惑いを持ちながらのポストカード作りや販売会全体の準備になりました。

当日は、8 時半に現地入りをして、このデザイン講座で研修してきたディスプレイ技術を私たちになりに応用し、商品を「立体的に陳列する」などの開店準備をし、2 日間に渡って 10 時～16 時までの販売会に参加しました。

色々なブランドの店が立ち並ぶキューズモールでの販売会だったので、人通りも多く、私たちが販売している製品にも関心を持って、見に来て下さる方もおられたのですが、なかなか売り上げには結びつきませんでした。改めて、一般の商業施設で販売することの厳しさや、通っていく人の購買欲を刺激するような売り場のディスプレイの仕方やチラシ・値札等のポップデザインの難しさを思い知らされた 2 日間でした。

何よりも私たち当工房にとって、「ポストカード」のオリジナルの自主製品を初めて作り、印刷して用意したポストカードの枚数の半分以上も売り上げることができたので、これからの工賃仕事やオリジナルな自主製品を考えていく上で一つの大きな収穫になりました。

「ものづくりデザイン講座」や今回の「絆市」を通じて得たディスプレイなどの知識や技術を、今後の「ふれあい野菜市」や「市民福祉の集い」等のイベントでの販売時に活かせることができればと思っています。



地域の避難訓練に参加しました・・・

今年も阪神大震災が発生した 1.17 の防災の日に、尼崎市内 6 地区に分かれて地域ごとに防災訓練があり、パソコン工房からは曲・広瀬が参加しました。

この防災訓練は、阪神大震災から学んだ教訓を生かし、近い将来発生することが予測されている南海地震に備えて、防災意識を高めるための訓練です。大庄地域は大庄中学校で津波地震を想定した「高い場所への一時避難訓練」が実施されました。

今回も消防士の方や地域の消防団の方に車いすごと抱えてもらい、校舎の 3 階まで一時的に避難する訓練に、地域の方々と一緒に参加しました。

このように障害者の作業所が地域の防災訓練に参加することは、工房の日々の防災意識を高めると同時に、地域の方々に「障害者も地域の中で普通に生活をしていて、災害時には同じように避難すること」を知ってもらう上で極めて大きな意義を持つことだと思っています。

地域の障害をもつ仲間や福祉施設の方々にも呼びかけて、積極的に地域の防災訓練やイベントに参加することができたらと考えています。今回は「つみき作業所」から 6 名の参加がありました。

